

令和3年度事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目 次

○ 総 括	1
○ 事業の実施状況	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	2
(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援	2
① 出前福祉共育講座の充実	2
② 地区福祉まつり支援の充実	2
③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	3
④ やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実	3
(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実	4
① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進	4
ア. 赤い羽根共同募金運動	4
イ. 歳末たすけあい募金運動	4
ウ. 歳末たすけあい募金配分事業	4
エ. 歳末たすけあい事業配分委員会の開催	5
② ボランティアセンター機能の充実	5
ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実	5
イ. ボランティア団体への活動支援の推進	5
③ ボランティア養成の充実	6
ア. ボランティア入門講座（ぼらんていあ Saturday）	6
イ. 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）	7
ウ. 災害福祉救援ボランティア養成講座	7
エ. 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座	7
オ. 傾聴ボランティア養成講座	8
カ. 福祉共育サポーター養成講座	8
④ 善意銀行事業の推進	9
ア. 金銭の預託、払い出し	9
イ. 物品の預託、払い出し	9
⑤ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進	10
(3) 災害ボランティア活動の実施	10
① 災害時の連携体制の構築に向けた取組み	10
② 危機管理体制の強化	11
③ 宇都宮市総合防災訓練への参加	11
(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり	12
① ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実	12
② 食中毒・食品衛生講習会の開催	12
③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	12
④ ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催	13
⑤ 男性高齢者調理講習会事業の支援	13
2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	13
(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化	13
① 広報紙「社協だより」の発行	13
② ホームページの充実	14
③ 福祉に関する情報発信機能の充実	14
④ 地区社協広報紙の発行助成	14

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実	15
①日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	15
②法人後見事業の実施	15
③総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実	16
④生活困窮者自立相談支援事業の実施	17
⑤地域包括支援センター事業の充実	18
ア. 地域包括支援センター御本丸	18
イ. 上河内地域包括支援センター	19
3. ともに支えあう地域社会づくり	20
(1) 身近な地域の中での市民相互の支えあい・助けあい活動の充実	20
①地区社会福祉協議会支援の充実	20
②地区社会福祉協議会会長研修会の開催	21
③福祉協力員制度の推進	21
④ブロック別福祉協力員表彰式・委嘱状交付式の開催	22
⑤地域共生社会推進事業の実施	22
⑥安心・安全情報キット配付事業の推進	23
⑦宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会への参加	23
⑧地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討	23
⑨ファミリーケアサービス事業の充実	24
⑩老人クラブ支援の充実	24
⑪敬老会開催の支援	24
⑫援護事業の実施	25
⑬社会福祉資金貸付事業	25
⑭各種事業に対する後援・共催	25
(2) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援	26
①第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進	26
②地域福祉事業運営委員会の開催	26
③第4次宇都宮市地域福祉活動計画の効果的な推進に向けた「検討委員会」	
「作業部会」の開催	26
ア. 検討委員会の開催	26
イ. 作業部会の開催	26
④福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定及び推進の支援	27
4. 在宅福祉サービス事業の推進	27
(1) 様々なニーズに応じたサービスの提	27
①福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進	27
②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	27
③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	28
④福祉機器・介護用品展示室の開設	28
5. 組織体制の強化	29
(1) 会務の運営	29
①理事会の開催	29
②監事会の開催	29
③評議員会の開催	30
④評議員選任・解任委員会の開催	30
(2) 苦情解決体制	30
①第三者委員会の開催	30

(3) 地区社会福祉協議会との連携強化	31
①地区社会福祉協議会会長会議の開催	31
②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催	31
(4) 職員の育成	31
①職員研修の実施	31
6. 自主財源の確保	32
(1) 社会福祉協議会会員制度の充実	32
(2) ぎんなん基金事業の充実	32
①ぎんなん基金の運用	32
②ぎんなん基金運営委員会の開催	33
7. 介護保険事業等の推進	33
(1) 訪問介護事業所の運営	33
①訪問介護事業	33
②介護予防訪問介護事業	33
(2) 居宅介護支援事業所の運営	34
①居宅介護支援事業	34
(3) 通所介護事業所の運営	34
①通所介護事業	34
②介護予防通所介護事業	35
(4) 障がい福祉サービス事業の運営	35
(5) 特定相談支援事業所の運営	35
8. 指定管理施設の管理・経営	36
(1) 総合福祉センターの管理・経営(2施設)	36
①宇都宮市総合福祉センター	36
②河内総合福祉センター	36
(2) 老人福祉センターの管理・経営(5施設)	37
①ことぶき会館	37
②ふれあい荘	38
③やすらぎ荘	39
④すこやか荘	40
⑤上河内	41
(3) 地域活動支援センターの管理・経営(3施設)	42
①雀の宮作業所	42
②若草作業所	43
③障がい者福祉センター	43
ア. 講座事業	43
イ. 地域活動支援センター事業	44

(4) 指定管理施設の管理・経営の充実	44
①事業経営委員会の開催	44
9. 受託事業の実施	45
(1) 宇都宮市からの受託事業	45
①日中一時支援事業の実施	45
ア. あっとほーむ・すずめ	45
イ. あっとほーむ・うだい	45
ウ. あっとほーむ・かわち	45
エ. 河内地域活動支援事業所	45
②各種奉仕員養成講座の実施	45
ア. 手話奉仕員養成講座	45
イ. 点訳奉仕員養成講座	46
ウ. 音訳奉仕員養成講座	46
③宇都宮市意思疎通支援事業(要約筆記者派遣事業)の実施	46
④宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施	46
⑤生活困窮者自立相談支援事業の実施	46
⑥地域包括支援センター事業の充実	47
ア. 地域包括支援センター御本丸	47
イ. 上河内地域包括支援センター	47
⑦移動支援事業の実施	47
(2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業	48
①生活福祉資金等貸付事業の実施	48
②日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	48

〔総 括〕

今日、地域社会では、少子高齢社会が本格化しているほか、単身世帯やひとり親世帯の増加、社会的孤立や貧困と格差など、様々な生活・福祉課題が多様化・複合化しています。これらの背景には、世帯構造や地域社会の機能の変化（地域の福祉力の変化）が要因の一つにあると考えられています。

国においては、これからの社会福祉の基本コンセプトとして『地域共生社会の実現』を掲げ、「生活困窮者自立支援制度」や「地域包括ケアシステム」、「地域共生社会の実現に向けた社会福祉法の改正」、さらには「重層的支援体制整備事業」など、新たな政策・施策を次々と導入しています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、私たちの生活は、新たな生活様式に基づいた変化を余儀なくされました。感染予防のための地域活動や交流活動の自粛は、高齢者等の体力や気力の低下のほか、人と人とのつながりの希薄化をさらに招きかねない深刻な状況を生み出すとともに、経済活動の停滞による生活困窮世帯の増加は、現在も深刻な状態が続いています。

このような状況を踏まえ、本会では、コロナ禍においても地域福祉活動やボランティア活動の継続を支援するため、各地区社協の取組み工夫事例発表と意見交換（ブロック別地区社協会長会議）や、オンラインを活用したボランティア養成講座（福祉共育サポーター養成講座）の開催、宇都宮市民福祉の祭典の開催支援など、実施方法等を工夫しながら事業を進めてきました。

また、市民の生活を守るため、緊急小口資金や総合支援資金の貸付をはじめ、生活困窮者自立相談支援事業や権利擁護・成年後見センター事業の強化や、訪問介護事業・通所介護事業を継続的に実施してきました。

さらに、新規事業として「地域共生社会推進事業」の実施や「宮っこの居場所応援連絡会」への参加による子ども支援、公益社団法人宇都宮青年会議所との「災害時における相互協力に関する協定」の締結による危機管理体制の強化など、多岐に渡る取組みを実施してきました。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画に基づいた各種事業の実施が困難な状況にありましたが、「第4次地域福祉活動計画」の基本理念である『ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会』の構築を目指し、地区社会福祉協議会や宇都宮市をはじめ、多分野の関係機関・団体等と連携しながら、本会の有する機能と役割を最大限に発揮し、地域福祉の推進に努めてきました。

〔事業の実施状況〕

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援

①出前福祉共育講座の充実

事業の目的	子どもから大人までお互いに学びあい、教えあい、共に育む福祉共育を推進し、やさしさを育む心の醸成を図る。
-------	---

取組み内容	実施回数	参加者
障がい当事者団体やボランティア（アシスタント）の協力を得て、講話や体験などを中心とした講座を開催した。	延 26 回（前年度比－19 回） ・手話体験 8 回 ・アイマスク体験 0 回 ・点字体験 12 回 ・盲導犬育成講話 0 回 ・車いす介助体験 2 回 ・ボランティア講話 1 回 ・その他 3 回	延 950 人 （前年度比－578 人）

事業の様子



▲ 聴覚障がいの理解(手話体験)



▲ 視覚障がいの理解(点字体験)

②地区福祉まつり支援の充実

事業の目的	地区社会福祉協議会が地域の関係機関などと協働で開催する「地区福祉まつり」の開催費用の一部を助成し、地域での仲間づくりや各団体の連携強化を図る。
-------	---

取組み内容

『中止』
 新型コロナウイルス感染症の影響により、全地区で中止となった。

③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

事業の目的	すべての市民が参加し、交流する場を通して、福祉への理解と地域の連帯感を深め、安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。
-------	---

取組み内容	開催日												
<p>市民相互の交流や福祉に対する理解を深める交流の場の推進を図るため、市民やボランティアが主体となり開催する「宇都宮市民福祉の祭典」の開催を支援した。</p> <p>・主催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会</p>	<p>令和3年11月23日（火・祝）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「福祉絵画展、福祉書道展、団体長表彰のみ実施」（実行委員会で決定）。</p>												
実施内容													
<p>・「福祉絵画展入賞作品」「福祉書道展入賞作品」「福祉団体紹介PRチラシ」をボランティアセンターホームページに掲載し周知した。</p> <p>・福祉功労者等の表彰 《被表彰者：162名》（前年度比+42名）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>被表彰者数</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実行委員長表彰（福祉書道展・絵画展表彰）</td> <td>45名</td> <td>+45名</td> </tr> <tr> <td>市長表彰</td> <td>95名</td> <td>-8名</td> </tr> <tr> <td>団体長表彰</td> <td>22名</td> <td>+5名</td> </tr> </tbody> </table>			被表彰者数	前年度比	実行委員長表彰（福祉書道展・絵画展表彰）	45名	+45名	市長表彰	95名	-8名	団体長表彰	22名	+5名
	被表彰者数	前年度比											
実行委員長表彰（福祉書道展・絵画展表彰）	45名	+45名											
市長表彰	95名	-8名											
団体長表彰	22名	+5名											

④やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

事業の目的	誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすために必要なやさしさをはぐくむ心の醸成を図るため、市民・団体・事業者・行政と協力し、「心のバリアフリー」の啓発活動を通して、やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりを推進する。
-------	--

取組み内容
<p>コロナ禍における各団体での様々な取組みや、障がいのある方が感じている不安や困りごとを知り、啓発することで「やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり」を推進するため、アンケート調査結果の取りまとめ等を行った。</p> <p>・主催 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会</p>

(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実

①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

事業の目的	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの市民の参加を促し、多様な民間の社会福祉活動を財政面から支援する仕組みとして、募金運動を展開する。
-------	--

ア. 赤い羽根共同募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	前年度比	備考
戸別募金	27,746,256 円	-1,139,070 円	
法人募金	1,622,038 円	-185,097 円	160 事業所
街頭募金	0 円	0 円	0 団体 『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため
学校募金	2,026,704 円	-82,006 円	152 校
職域募金	700,212 円	+139,567 円	161 箇所
その他の募金	580,942 円	+137,297 円	26 件
合計	32,676,152 円	-1,129,309 円	

イ. 歳末たすけあい募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	前年度比	備考
戸別募金	18,782,155 円	-876,007 円	
篤志募金	35,543 円	+10,387 円	3 件
合計	18,817,698 円	-865,620 円	

ウ. 歳末たすけあい募金配分事業

配分種別	配分額	前年度比	備考
施設配分	1,361,850 円	-259,274 円	通所の障がい者施設 56 施設 民間保育園 15 園
団体配分	212,100 円	-113,500 円	当事者団体 6 団体
地域配分	4,397,000 円	-106,760 円	36 地区社協
地域福祉活動 事業配分	9,438,365 円	-150,560 円	
合計	15,409,315 円	-630,094 円	

エ. 歳末たすけあい事業配分委員会の開催

開催日	議 題
令和 3 年 6 月 11 日 (金) 【書面開催】	(協議事項) ・ 令和 3 年度歳末たすけあい配分事業地域福祉活動事業配分 「地区敬老会」「福祉協力員活動」について
令和 3 年 9 月 3 日 (金) 【書面開催】	(報告事項) ・ 令和 2 年度歳末たすけあい募金運動の実績について ・ 歳末たすけあい募金運動の現状と課題について (協議事項) ・ 令和 3 年度歳末たすけあい配分事業の実施について

②ボランティアセンター機能の充実

(総事業費 3,223,537 円)

事業の目的	市民の社会福祉に関する理解と関心を深めるとともに、近隣の市民が助けあうことを基本としたボランティア活動の推進を図る。
-------	--

ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実

各種相談・問合せ	ボランティア活動調整	ボランティア登録数
6,274 件 (前年度比-1,650 件)	137 件 (前年度比-64 件)	・ 団体 359 団体 11,626 人 (前年度比-6 団体 -334 人) ・ 個人 60 人 (前年度比+14 人)

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

a. 宇都宮ボランティア協会の活動支援

取組み内容
宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。(助成額 250,000 円)

b. ボランティア活動用機材の貸出

取組み内容	貸出件数	貸出物品
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動に必要な機材の貸出を行い、活動を支援した。	121 件 (前年度比-36 件)	パソコン 液晶プロジェクター スクリーンなど

c. ボランティアルームの貸出

取組み内容	利用件数
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出を行い、活動を支援した。	延 121 団体 648 人 (前年度比+4 団体-8 人)

d. ボランティアロッカーの貸出

取組み内容	利用団体数
登録しているボランティア団体を対象にロッカーの貸出を行い、活動を支援した。	利用団体 36 団体 (前年度比±0 件)

e. 対面朗読サービスの実施

取組み内容	実施回数など
視覚障がいのある方などに対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面で読み上げるサービスを、音訳ボランティアの協力で実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 0 回 (前年度比-3 回) ・利用者数 延 0 人 (前年度比-7 人) ・協力ボランティア数 延 0 人 (前年度比-6 人)

③ボランティア養成の充実

ア. ボランティア入門講座（ぼらんていあ Saturday）

事業の目的	親子や社会人などが参加しやすい土曜日に開催し、福祉のまちづくりの一助となるボランティア活動の“きっかけ”をつくる。
-------	---

取組み内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がいを学ぼう ・視覚障がいを学ぼう ・発達障がいを学ぼう ・精神障がいを学ぼう 	(聴覚) 令和 3 年 8 月 28 日 (土) 中止 令和 4 年 1 月 22 日 (土) 中止 (視覚) 令和 3 年 10 月 2 日 (土) 開催 令和 4 年 1 月 29 日 (土) 中止 『一部中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。	延 16 人 (前年度比-8 人)
事業の様子		

視覚障がいを学ぼう



▲手引き体験



▲点字体験

イ. 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）

事業の目的	高校生から大学生、専門学校生を対象に、ボランティア活動のきっかけをつくり、身近な地域でのボランティア活動の推進を図る。
--------------	---

取組み内容	開催日
<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障がい者による講話 ・ 手引き、アイマスク体験 ・ ゲーム、卓球による交流 など 	<p style="text-align: center;">令和3年8月12日（木） 8月13日（金） 『中止』</p> <p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。</p>

ウ. 災害福祉救援ボランティア養成講座

事業の目的	減災意識の向上と減災活動の実践につなげるとともに、災害時のボランティアを養成する。
--------------	---

取組み内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話（災害に対する心構え） ・ 聴覚、視覚障がいの理解 ・ 実技（車いす介助、生活支援） など（全3回） 	<p style="text-align: center;">令和3年6月12日（土） 6月19日（土） 6月26日（土）</p>	<p>延 76 人 （前年度比+76 人）</p>



▲聴覚障がいの理解



▲実技（生活支援について学ぶ）

エ. 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座

事業の目的	災害福祉救援ボランティア養成講座の修了生を対象に実施し、災害ボランティアの知識と技術の向上を図る。
--------------	---

取組み内容	開催日	参加者
<p>○1 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 （災害ボランティアセンターの活動） ・ 実技 （災害ボランティアセンター設置 運営訓練） <p>○2 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇都宮市総合防災訓練への参加 	<p style="text-align: center;">令和3年7月18日（日） 7月31日（土）</p> <p style="text-align: center;">2 日目の市総合防災 訓練への参加は、規模 縮小開催となったため 『参加中止』</p>	<p>15 人 （前年度比+15 人）</p>

オ. 傾聴ボランティア養成講座

事業の目的	高齢者が抱える不安や孤独に耳を傾け、孤独感を解消するための「傾聴活動」に必要な技能や資質を学ぶ。
-------	--

取組み内容	開催日
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 (認知症の理解、傾聴の基本など) ・ ロールプレイ (模擬演習) (全3回) 	<p style="text-align: center;">令和3年9月 7日 (火) 9月14日 (火) 9月21日 (火)</p> <p style="text-align: center;">『中止』</p> <p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。</p>

カ. 福祉共育サポーター養成講座

事業の目的	出前福祉共育講座をより効果的に展開するため、福祉共育サポーターを養成する。
-------	---------------------------------------

取組み内容	開催日	参加者
<p>○1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 (福祉共育の現状と課題など) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン (YouTube 配信) で開催。 <p>○2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験 「身体障がいの理解」 「視覚障がいの理解」 	<p style="text-align: center;">(YouTube 配信期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年3月1日 (火) ~3月10日 (木) <p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2日目は『中止』。</p>	<p>14人 (前年度比+14人)</p>

④善意銀行事業の推進

事業の目的	市民などからの善意の金銭や物品の預託を受け、必要とするところに払出しを行い、市民相互の支えあい・助けあい活動を推進する。
-------	--

ア. 金銭の預託、払い出し

	項目	金額	前年度比	備考
預託	預託金受入れ	14,221,745 円	+13,528,356 円	
	使用済み切手 書き損じはがき	84,816 円	+17,280 円	
	プルタブ	20,295 円	-1,023 円	
	入れ歯リサイクル	0 円	±0 円	
	前年度繰越金	3,003,760 円	+87,361 円	
	①預託金合計	17,330,616 円	+13,631,974 円	
払出	預託金払出し	65,700 円	-493,300 円	
	事業費支出	208,800 円	+72,918 円	
	②払出合計	274,500 円	-420,382 円	
	次年度繰越金	17,056,116 円	+14,052,356 円	

イ. 物品の預託、払出し

	項目	件数	前年度比
預託	収集物品 (使用済み切手、プルタブなど)	91 件	-36 件
	その他物品 (車いす、タオル、衣類、除菌液、マスクなど)	24 件	-42 件
	預託件数合計	115 件	-78 件
払出	施設や団体等 (衣類・食品等)	27 件	-23 件
	払出件数合計	27 件	-23 件

⑤宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進
【宇都宮市からの受託事業（平成 26 年 6 月 25 日受託）】

（総事業費 20,930,166 円）

事業の目的	高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを促進する。
-------	---

取組み内容	登録団体など
高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを応援する事業の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開した。	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体数 506 団体（前年度比 -37 団体） ・事業対象者数 12,700 人（前年度比 -60 人）

（3）災害ボランティア活動の実施

①災害時の連携体制の構築に向けた取組み

事業の目的	新型コロナウイルス対策も踏まえた災害時の支援を円滑に行う連携体制を構築するため、宇都宮市、市社協、市内のボランティア・NPO 団体等による連携支援を考えるため研修を行う。
-------	---

取組み内容	開催日
<ul style="list-style-type: none"> ・現状報告 災害時における「市と社協の役割」を知る ・ロールプレイ 新型コロナウイルス対策も踏まえた災害ボランティアセンター運営体験 ・参加団体 宇都宮市 宇都宮市社会福祉協議会 宇都宮ボランティア協会 NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房 NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク 認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク NPO 法人トチギ環境未来基地 とちぎ YMCA NPO 法人リスマイリー 栃木県社会福祉協議会 栃木県共同募金会 宇都宮大学学生ボランティア支援室 	<p style="text-align: center;">令和 4 年 2 月 3 日（木）</p> <p style="text-align: center;">『延期』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。</p>

②危機管理体制の強化

事業の目的	宇都宮市をはじめ、地域の関連機関・団体、ボランティア・NPO 団体などの関係機関との連携協働体制を構築し、危機管理対応力の強化を図る。
--------------	---

取組み内容	協定の締結相手	協定締結日
令和元年東日本台風における関係機関・団体による連携支援による被災者支援活動の経験から、今後、市内で災害が発生し、または発生する場合において、双方の機能や資源を最大限に活用し、迅速かつ効果的な支援活動を実施することを目的に、協定を締結した。	公益社団法人 宇都宮青年会議所	令和3年 12月16日(木)



協定書への締結を終えた宇都宮青年会議所 山田修嗣・前理事長（写真左）と市社協・手塚英和会長（写真右）
※撮影時のみマスクを外し、会話を控えて撮影

③宇都宮市総合防災訓練への参加

事業の目的	災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し訓練を行う。
--------------	--

取組み内容	開催日
「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生と協働で実施。	規模縮小開催のため 『参加中止』

(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり

①ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実

事業の目的	地域で暮らすひとり暮らし高齢者が生きがいをもって生活ができるよう、地域の中での仲間づくりや孤独感の解消、情報の提供を目的に会食会の実施を支援する。
-------	---

取組み内容	参加地区
<ul style="list-style-type: none"> ・ 助成 36 地区社協に 1 食あたり 400 円を助成した。 (助成総額 8,043,600 円) ・ 対象 おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者 ・ 実施回数 地区社協ごとに年 6~12 回実施 	36 地区

②食中毒・食品衛生講習会の開催

事業の目的	ふれあい会食事業に携わる福祉協力員や民生委員などを対象に、食中毒防止などに関する講習を行い、事業実施に伴う食の安全・安心を図る。
-------	--

取組み内容	開催日
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習「食中毒・食品衛生に関すること」 ・ 情報交換 	【書面開催】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。 ※食中毒・食品衛生に関する資料を送付

③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

事業の目的	高齢者、障がい者及び子どもなどが身近な場所に気軽に集い、ふれあいを通して仲間づくりや生きがいづくりの輪を広げ、参加者の悩みや不安の解消を図る。
-------	---

取組み内容	サロン設置数
○ふれあい・いきいきサロン事業助成 1 サロンあたり 24,000 円を上限に助成した。(毎年度助成) (助成総額 7,276,000 円)	39 地区 306 箇所 (R4.3.31 現在)
○ふれあい・いきいきサロン健康事業助成 参加者の健康増進のための器具を購入する際の経費として、 25,000 円を上限に助成した。(1 サロン 1 回限り) (助成総額 150,000 円)	
○感染予防対策や活動内容を変更・工夫しながら活動している サロンの活動事例等のパンフレットを新たに作成し配付した。	

④ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催

事業の目的	ふれあい・いきいきサロン事業の効果的な運営とサロン相互の連携を促進する。
-------	--------------------------------------

開催日	
【書面開催】	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。	
<p>コロナ禍でも、感染予防対策や活動内容を変更・工夫しながら活動しているサロンの活動事例のほか、これまで市社協広報紙で紹介したサロンをピックアップしたパンフレットを新たに作成し、全サロンに配付しました。</p>	

⑤男性高齢者調理講習会事業の支援

事業の目的	男性高齢者の栄養面を考えた調理を含め、自立した生活と地域での仲間づくりや生きがいを持ち、いきいきとした生活が送れるよう実施を支援する。
-------	---

取組み内容			
事業を実施した地区社会福祉協議会に対し開催費用を助成し、事業の開催を支援した。（助成総額 28,800 円）			
	助成地区	実施回数	延参加者
	昭和地区	6 回	96 人
	宮の原地区	5 回	48 人
	合計	11 回	144 人
（前年度比 -43 人）			

2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

（1）地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化

①広報紙「社協だより」の発行

事業の目的	広報紙「社協だより」を発行することで福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	--

取組み内容	発行部数
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 180 号 令和 3 年 4 月 20 日発行 ・ 第 181 号 7 月 1 日発行 ・ 第 182 号 10 月 1 日発行 ・ 第 183 号 令和 4 年 2 月 1 日発行 	各号 21,000 部を発行

②ホームページの充実

事業の目的	「ホームページ」を活用して福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
--------------	---

取組み内容	閲覧数
・福祉に関する情報や、社協の事業などを発信	月平均 約 5,500 件

③福祉に関する情報発信機能の充実

事業の目的	地域の福祉拠点として指定管理施設を活用し、福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
--------------	---

取組み内容	実施施設
<ul style="list-style-type: none"> ・各種地域福祉講座、講習会などの福祉情報の提供 ・車いすなどの福祉機器の貸出 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター 5 施設 ・地域活動支援センター3 施設 ・総合福祉センター 2 施設

④地区社協広報紙の発行助成

事業の目的	地区社協が発行する広報紙の発行費用を助成し、地域の住民に対する福祉情報の広報・啓発を行う。
--------------	---

取組み内容
<p>広報紙を発行した地区社会福祉協議会に対し、発行にかかる費用の 1/2（地区の世帯数に応じた上限額の範囲内）を助成し、地域住民に対する福祉情報の広報・啓発を支援した。（助成総額 195,650 円）</p> <p>〔助成地区〕 ・清原地区 ・宝木地区 ・雀宮地区 ・御幸地区</p>

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

①日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業（平成 11 年 10 月 1 日受託）】

（総事業費 10,342,500 円）

事業の目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない方に対し、相談や福祉サービスの利用援助、金銭管理などのサービスを提供する。
-------	---

取組み内容																							
・担当地区	宇都宮市、上三川町																						
・一般相談	月～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分																						
・契約者数	96 人（新規契約者＋11 人） （前年度比：契約者数 2 人、新規契約者数 －6 人）																						
・相談件数	2,242 件（前年度比 －555 件）																						
・相談者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>相談件数</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者</td> <td>621 件</td> <td>－429 件</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>416 件</td> <td>－19 件</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>1,087 件</td> <td>－91 件</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者</td> <td>108 件</td> <td>－13 件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10 件</td> <td>－3 件</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td>2,242 件</td> <td>－555 件</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	相談件数	前年度比	認知症高齢者	621 件	－429 件	知的障がい者	416 件	－19 件	精神障がい者	1,087 件	－91 件	身体障がい者	108 件	－13 件	その他	10 件	－3 件	合計（延）	2,242 件	－555 件
区 分	相談件数	前年度比																					
認知症高齢者	621 件	－429 件																					
知的障がい者	416 件	－19 件																					
精神障がい者	1,087 件	－91 件																					
身体障がい者	108 件	－13 件																					
その他	10 件	－3 件																					
合計（延）	2,242 件	－555 件																					

②法人後見事業の実施

事業の目的	認知症や知的障がいなどの理由により、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人として成年後見人等となり、財産管理、身上保護を行うことで利用者の権利を擁護する。
-------	--

取組み内容																	
・法人後見受任件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>件数</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後見類型</td> <td>7 件</td> <td>±0 件</td> </tr> <tr> <td>保佐類型</td> <td>0 件</td> <td>±0 件</td> </tr> <tr> <td>補助類型</td> <td>0 件</td> <td>±0 件</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td>7 件</td> <td>±0 件</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	件数	前年度比	後見類型	7 件	±0 件	保佐類型	0 件	±0 件	補助類型	0 件	±0 件	合計（延）	7 件	±0 件
区 分	件数	前年度比															
後見類型	7 件	±0 件															
保佐類型	0 件	±0 件															
補助類型	0 件	±0 件															
合計（延）	7 件	±0 件															
・相談件数	97 件（前年度比 ＋28 件）																
・法人後見運営委員会	令和 3 年 7 月 15 日（木）																

③総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実
 （総事業費 3,298,743 円）

事業の目的	市民が抱える各種の問題について広く相談に応じ、適切な助言指導を行うとともに、各相談機関との連携を図る。
-------	---

取組み内容

○相談内容と相談件数

相談内容	相談件数	相談内容	相談件数
生計問題	15 件	財産問題	20 件
年金問題	3 件	交通事故問題	3 件
職業・生業問題	9 件	児童福祉・母子保健問題	2 件
住宅問題	12 件	教育・青少年問題	1 件
家族問題	83 件	心身障がい者福祉問題	0 件
結婚問題	10 件	ひとり親福祉問題	0 件
離婚問題	5 件	高齢者福祉問題	12 件
健康・衛生問題	6 件	苦情問題	15 件
医療問題	4 件	その他	66 件
精神衛生問題	434 件	合計 705 件（前年度比－98 件）	
人権・法律問題	5 件		

※開設回数 延 241 回（うち特別相談日 16 回、巡回相談日 0 回）

- ・心配ごとや悩みごとの相談 月～金曜日

特別相談（毎月各 1 回）
第 3 火曜日：弁護士の法律相談
第 3 水曜日：知的障がい者の生活相談
第 3 木曜日：更生や犯罪予防に関する相談
第 3 金曜日：こころの悩み相談

- ・生活福祉相談員研修会の開催

日 時	令和 4 年 2 月 19 日（土）【書面開催】
参加人数	15 名
研修テーマ	『精神障がい』とは～知ろう、学ぼう、深めよう～
内 容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、研修資料を配付。

④生活困窮者自立相談支援事業の実施

【宇都宮市からの受託事業（平成 26 年 6 月 25 日モデル事業受託
平成 27 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 51,359,237 円）

事業の目的	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方に対し、自立に向けた相談支援を行う。
-------	---

取組み内容		
・相談などの内訳		
区 分	件数など	前年度比
新規相談件数（新規受付実人数）	2,312 件	-2,524 件
自立に向けたプラン作成件数	563 件	+134 件
就労支援対象者数	284 人	+105 人
就職及び増収者数	70 人	-22 人
支援回数	10,985 件	-1,502 件
・住居確保給付金の申請対応 （新型コロナウイルス感染症の影響による支給要件の緩和）		
新規申請件数	延支給世帯数	
104 件	434 世帯	

⑤地域包括支援センター事業の充実

ア. 地域包括支援センター御本丸

【宇都宮市からの受託事業（平成 18 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 35,326,587 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	--


取組み内容	
・ 担当地区	中央地区、築瀬地区、城東地区
・ 総合相談支援事業	相談者数 延 565 人（前年度比 +149 人）
・ 地域ケア会議の開催	中央地区全体 0 回 築瀬地区全体 0 回（協議体へ移行） 城東地区全体 0 回 単位自治会ごと 7 回 個別会議 1 回
・ 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 1,447 件 （うち居宅介護支援事業所委託 851 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 1,390 件 （うち居宅介護支援事業所委託 725 件）
・ 介護予防教室の開催	中央地区 1 コース、築瀬地区 1 コース、城東地区 1 コース
・ 家族介護教室の開催	『介護保険のあれこれ』延 2 回
・ ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 15 回（対象者：2 人）
・ 地域介護予防活動支援事業	対象グループなし

イ. 上河内地域包括支援センター

【宇都宮市からの受託事業（平成 19 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 25,648,290 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	--

取組み内容	
・ 担当地区	上河内地区
・ 総合相談支援事業	相談者数 延 196 人（前年度比 +3 人）
・ 地域ケア会議の開催	上河内地区全体 2 回 個別会議 1 回
・ 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 531 件 （うち居宅介護支援事業所委託 209 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 274 件 （うち居宅介護支援事業所委託 92 件）
・ 介護予防教室の開催	上河内地区 36 回（小学校区ごとに 3 会場で実施） （新型コロナウイルス感染防止のため、うち 6 回は書面開催）
・ 家族介護教室の開催	『アンガーマネジメント～怒りの感情を上手にコントロール～』1 回
・ ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 15 回（対象者：1 人）
・ 地域介護予防活動支援事業	介護予防教室などの修了者に対する自主グループ支援 2 団体 延 4 回
	
	介護予防教室(はつらつ教室)

3. ともに支えあう地域社会づくり

(1) 身近な地域の中での市民相互の支えあい・助けあい活動の充実

①地区社会福祉協議会支援の充実

事業の目的	地域の生活・福祉課題の把握や課題の解決方法、社会資源の点検や新たな社会資源の開発などを関係機関・団体などと連携・協働で行える体制づくりに努め、市民が主体的に地域福祉事業（活動）に参画できるよう支援する。
-------	---

取組み内容	配置数
地区担当職員をブロックごとに配置し、地区社協が実施したコロナ禍でもつながりを絶やさない地域づくり（見守り活動や交流活動など）の好事例を収集・発信し、活動支援を行った。	地区担当職員 6人配置

【地区社協の取組み工夫】

■事例1：見守り活動の工夫（陽光地区社協）



新型コロナウイルスの影響から、ふれあい会食会を中止とした代わりに、お正月向けのお弁当を配付したり（1月）、陽光小学校児童の協力により、絵手紙とチョコレートを配付しながら（2月）、見守り活動を継続しました。

■事例2：認知症予防講座の開催（瑞穂野地区社協）



認知症に対する理解を深めるため、受付方法や参加者の制限・連絡先の把握など感染予防対策を工夫・徹底し、安全に十分配慮しながら地域住民を対象に実施しました。

②地区社会福祉協議会会長研修会の開催

事業の目的	先駆的な活動の視察を通じ、地区社協が実施する地域福祉活動のさらなる活性化と地区社協間の交流を図る。
-------	---

取組み内容	開催日
各地区社会福祉協議会における取組み ・活動事例発表 ・懇談会（情報交換・意見交換）	地区社協の会長・役員を対象にブロック別に開催 (中央) 令和3年12月9日(木) (東部) 12月10日(金) (南部) 12月16日(木) (西部) 12月17日(金) (北部) 12月21日(火)



▲ブロックごとに活動事例を発表▲

③福祉協力員制度の推進

事業の目的	地域福祉及び在宅福祉の効率的運営と組織的活動を促進し、社会福祉の増進を図るため福祉協力員制度を推進する。
-------	--

取組み内容
<p>小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会の支援及び活動費の助成を行った。（助成総額 4,247,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別福祉協力員数（39 地区合計） 2,516 人（前年度比 -41 人）
<p>▲新たに作成したリフレット「もっと知りたい！『福祉協力員』」</p>


④ブロック別福祉協力員表彰式・委嘱状交付式の開催

事業の目的	身近な地域における見守りや声かけ活動などの地域福祉活動を長年実践してきた福祉協力員に対し、その功績を称えるとともに、福祉協力員の資質の向上と地区社協の地域福祉活動の活性化を図る。
-------	---

取組み内容	開催日
・福祉協力員表彰 (20年表彰) 受賞者 5地区 8名 (10年表彰) 受賞者 29地区 131名	・中央ブロック 令和3年7月6日(火) 市総合コミュニティセンター
	・東部ブロック 6月22日(火) 東市民活動センター
	・西部ブロック 6月30日(水) とちぎ青年会館コンサレー
	・南部ブロック 7月8日(木) 市南図書館
	・北部ブロック 6月29日(火) パルティ とちぎ男女共同参画センター

⑤地域共生社会推進事業の支援 【令和3年度新規事業】

事業の目的	地区社協が主催または共催する、地域共生社会の推進に資する事業に助成し、活動を支援した。
-------	---

取組み内容
事業を実施した地区社会福祉協議会に対し活動費用を助成し、活動を支援した。 (助成総額 200,000円)
[助成地区] ・明保地区 ・陽光地区 ・宮の原地区 ・御幸ヶ原地区
【取組みの工夫】 地区における地域共生社会推進事業の取組み例をまとめたリーフレットを作成し、各地区社協に配付し、事業実施に伴う相談に応じながら活動を支援しました。
■取組み例：高齢者見守り安心ネットワーク（明保地区社協）
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>地区まちづくり協議会や地区社協が連携して実施している、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象とした見守り活動スタッフのジャンパーを作成しました。</p> <p>コロナ禍で沈みがちだったスタッフのモチベーションが向上したほか、視覚的にも分かりやすく、地域住民の安心にも繋がりました。</p> </div> </div>

⑥安心・安全情報キット配付事業の推進

事業の目的	本人情報が即座に確認できる「キット」を配付することで、救急時における速やかな対応と見守り活動を促進し、安全・安心な日常生活が送れる地域社会を構築する。
-------	---

取組み内容	配付数
在宅の高齢者及び障がい者などに対し、「安心・安全情報キット」を配付した。	・令和3年度配付本数 16地区 2,469本 (累計配付本数 39地区 延 24,475本)

事業の様子



▲安心・安全情報キットの配付

⑦宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会への参加 【令和3年度新規事業】

事業の目的	企業や個人などの居場所支援者からの金銭や物品等の寄附などを、支援を必要とする居場所運営者へ適切につなぐため、市等と連携していく。
-------	--

取組み内容

- 令和4年3月16日(水)
宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会設立準備会への出席
- 寄附金の受入れ
4件 14,090,945円

⑧地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討

事業の目的	地域の中で子どもたちが安心・安全にいきいきと育つことができるよう、地域の子どもたちへの地域福祉事業について検討する。
-------	--

取組み内容

子どもを対象とする新規事業の実施に向けた検討を行った。

⑨ファミリーケアサービス事業の充実

(総事業費 2,760,841 円)

事業の目的	日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者などの世帯(利用会員)に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供する。
-------	--

サービス内容	会員数	利用実績
掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添いなど	<ul style="list-style-type: none"> ・利用会員 40 人 (前年度比-7 人) ・協力会員 16 人 (前年度比-10 人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 延 1,858 件 (前年度比 -36 件) ・利用時間 延 2,293 時間 (前年度比 -39 時間)

⑩老人クラブ支援の充実

事業の目的	老人クラブの育成指導と連絡調整を図り、併せてクラブ活動の充実強化を推進し、高齢者福祉及び地域福祉の向上発展に寄与する。
-------	---

取組み内容	クラブ数・会員数
高齢者の介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブや地区連絡協議会を支援し、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業支援を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ数 281 クラブ ・会員数 15,285 人

取組み内容
<p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ社会奉仕の日 (年 2 回) 延 3,902 人 ・機関紙の発行 (年 3 回) ・地区体育大会 1 地区 73 名 ・地区歩け歩け大会 9 地区 777 人 ・加入促進運動強化月間 1 月～3 月 ・リーダー研修会の開催

⑪敬老会開催の支援

事業の目的	高齢者を敬い、励まし、高齢者福祉に対する市民の理解や関わりを深めながら、市民全体で協力して活力ある長寿社会を築くため、敬老会の開催を支援する。
-------	---

取組み内容
<p>地区社会福祉協議会、宇都宮市、市社会福祉協議会の共催により開催する敬老会の開催費用の一部を助成した。</p> <p style="text-align: center;">39 地区社協へ助成 (助成総額 5,191,365 円)</p>

⑫ 援護事業の実施

事業の目的	所持金の紛失などにより、目的地まで行くことのできない行旅人に対し、旅費の貸付を行う。
-------	--

貸付限度額	貸付人数など
1人600円(1人1回限り)	・貸付人数 64人(前年度比-24人) ・貸付額合計 38,400円

⑬ 社会福祉資金貸付事業

事業の目的	市社協が独自に行う貸付事業の債権管理を行う。
-------	------------------------

取組み内容	
・完了件数	1件(前年度比+1件)
・累積貸付件数	0件(前年度比-1件) ※現在は貸付を行わず、債権管理のみ。

⑭ 各種事業に対する後援・共催

事業の目的	各団体などが開催する事業に対し、後援・共催を行う。
-------	---------------------------

取組み内容	
・共催	0件(前年度比±0件)
・後援	10件(ボランティア団体など) (前年度比-21件)

(2) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援

①第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進

事業の目的	地域に根差した福祉活動を推進するため、ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会の構築を目指し、第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進する。
-------	--

取組み内容

第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進するため、進行管理を行うとともに、「地域福祉事業運営委員会」、「検討委員会」、「作業部会」を開催した。

- ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画推進期間：平成30年度～令和4年度

②地域福祉事業運営委員会の開催

開催日	議題
令和3年 10月28日(木)	(協議事項) ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和4年 3月4日(金) 【書面開催】	(議事) ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況及び地域福祉・ボランティア事業について ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の策定について

③第4次宇都宮市地域福祉活動計画の効果的な推進に向けた「検討委員会」「作業部会」の開催

ア. 検討委員会の開催

開催日	取組み内容
令和3年 8月31日(火) 【書面開催】	・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和4年 1月24日(月) 【書面開催】	・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の策定について

イ. 作業部会の開催

開催日	取組み内容
令和3年 9月28日(火)	・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和4年 2月17日(火) 【書面開催】	・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の策定について

④福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定及び推進の支援

事業の目的	地域の生活・福祉課題を解決し、市民の地域福祉活動への積極的な参画を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容
<p>（未策定地区への支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関・団体と連携しながら、福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定に向けて、地区担当職員による支援を行った。 <p>（策定済み地区への支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画の推進、進行管理などの策定後の活動を支援した。 （瑞穂野地区、平石地区、河内地区）

4. 在宅福祉サービス事業の推進

（1）様々なニーズに応じたサービスの提供

①福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進

事業の目的	市社協が所有する車いすなどの福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の推進を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容	貸出窓口	貸出件数
<p>一時的に車いすや歩行器などが必要になった市民に、貸出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出期間 原則として3か月 利用料 無料 	<p>（市内9か所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンター 河内総合福祉センター ことぶき会館 ふれあい荘 やすらぎ荘 すこやか荘 上河内老人福祉センター 雀の宮作業所 若草作業所 	<p>延 328 件 （前年度比+70 件）</p>

②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

（総事業費 561,000 円）

事業の目的	理美容店に出向いて利用することが困難な 65 才以上の在宅の高齢者で理容を希望する者に、訪問理容出張サービスの出張費補助券を提供することで、在宅福祉の充実と向上を図る。
-------	--

申請者	利用補助券	補助券発行枚数
174 人 （前年度比+36 人）	374 枚 （前年度比+74 枚）	816 枚 （前年度比+170 枚）

③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進 (総事業費 3,271,380 円)

事業の目的	ひとり暮らしの高齢者の家庭に乳酸菌飲料の配達を通じて訪問し、安否確認と孤独感の解消に努め、在宅福祉の向上を図る。
-------	--

利用者	配達本数	状況確認	緊急対応
延 4,008 人 (月平均 334 人)	延 46,734 本 (前年度比-4,306 本)	58 件 ※配達時に不在のため詳細確認	1 件

④福祉機器・介護用品展示室の開設

事業の目的	介護を容易にするための福祉機器や介護用品などの情報を提供し、在宅福祉の向上を図る。
-------	---

利用者数
延 80 人 (前年度比-20 人)

5. 組織体制の強化

(1) 会務の運営

①理事会の開催

開催日	議 題
令和3年 4月1日(木)	(議事) ・宇都宮市社会福祉協議会会長の選任について ・宇都宮市社会福祉協議会常務理事の選任について
6月8日(火)	(報告事項) ・会長職務の執行状況について ・会長専決事項について ・令和2年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算 (議事) ・令和2年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について ・令和2年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について ・宇都宮市社会福祉協議会役員の選任候補者について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
7月1日(木)	(議事) ・宇都宮市社会福祉協議会正副会長の選任について ・宇都宮市社会福祉協議会常務理事の選任について
11月11日(木)	(報告事項) ・会長の職務執行状況について ・令和3年度宇都宮市社会福祉協議会第1次収支補正予算について
令和4年 3月8日(火)	(報告事項) ・会長専決事項について ・令和3年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について ・宇都宮市社会福祉協議会各規程の一部改正について (議事) ・宇都宮市社会福祉協議会第定款の一部改正(案)について ・令和4年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和4年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算(案)について ・令和4年度宇都宮市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約の締結について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

②監事会の開催

開催日	議 題
令和3年 5月20日(水)	(監査) ・令和2年度事業執行及び会計処理について

③評議員会の開催

開催日	議 題
令和 3 年 6 月 23 日 (水) 【書面開催】	(議事) ・ 宇都宮市社会福祉協議会役員の選任について ・ 令和 2 年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について ・ 令和 2 年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について
令和 4 年 3 月 30 日 (水) 【書面開催】	(議事) ・ 宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について ・ 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について ・ 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

④評議員選任・解任委員会の開催

開催日	議 題
令和 3 年 6 月 23 日 (水) 【書面開催】	(議事) ・ 評議員の選任について

(2) 苦情解決体制

①第三者委員会の開催

事業の目的	市社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するとともに、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護と、サービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図る。
-------	--

開催日	議 題
令和 3 年 12 月 17 日 (金)	(報告事項) ・ 宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決制度の概要について ・ 宇都宮市社会福祉協議会事業概要について ・ 令和 2 年度苦情等の状況について 〔苦情件数〕 9 件 (前年度比-2 件) ・ 職員の対応・接遇に関すること 5 件 ・ 福祉サービスに関すること 0 件 ・ 施設の管理・利用に関すること 3 件 ・ その他 1 件

(3) 地区社会福祉協議会との連携強化

①地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議 題
令和3年 4月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度宇都宮市社会福祉協議会「会員会費募集」について ・「栃木県知事表彰」「栃木県共同募金会会長表彰」被表彰候補者の推薦について ・令和3年度「各種申請書等」の提出について
6月16日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度日赤社資募集運動の実施について ・令和3年度敬老会助成金の交付申請について
9月9日(木) 【書面開催】	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度「赤い羽根共同募金運動」の実施について ・令和3年度「地域歳末たすけあい募金運動」の実施について

②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議題
○中央ブロック 令和4年2月8日(火)	(報告事項) ・令和3年度地区会長研修会「地区社協会長等懇談会」アンケート集計結果について
○東部ブロック 2月1日(火)	(内容) ・「ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業」及び「ふれあい・いきいきサロン事業」の助成金の取扱いについて ・地域共生社会の実現に向けたヒアリング調査について ・(仮称)第5次「宇都宮市地域福祉活動計画」の策定について
○西部ブロック 2月7日(月)	
○南部ブロック 2月10日(木)	
○北部ブロック 2月4日(金)	

(4) 職員の育成

①職員研修の実施

事業の目的	職員育成方針に基づき、職員のスキルアップと職業人としての人間力及び組織力の向上を図る。
-------	---

取組み内容	開催日
○研修内容 良好な人間関係づくりとコミュニケーション研修	令和3年 11月2日(火)
○講師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬隆人氏	11月9日(火) 11月30日(火)

6. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会会員制度の充実

事業の目的	市社協の理念や活動に賛同し、地域福祉の推進を財政的に支援していただける市民や企業・団体などの会員の充実に努める。
-------	--

取組み内容		
地区社会福祉協議会や自治会の協力を得て、市社協事業の普及啓発と、地域福祉事業を推進するための会員会費（自主財源）の確保に努めた。		
会員種別	会費実績額	前年度比
普通会員 (各世帯)	31,509,360 円	+49,396 円
特別会員 (個人)	54,300 円	-26,700 円
団体会員 (社会福祉施設、団体など)	435,890 円	+10,890 円
賛助会員 (企業、事業所、個人など)	2,120,000 円	+120,000 円
合計	34,119,550 円	+153,586 円

(2) ぎんなん基金事業の充実

① ぎんなん基金の運用

事業の目的	社会福祉を振興するための財源として、ぎんなん基金の安全な管理と効果的な運用を図る。
-------	---

取組み内容		
・ 寄附の状況		
種別	寄附金額	前年度比
個人	858,563円	-4,572,343円
企業	170,221円	+168,521円
団体	681,488円	+204,673円
募金箱	404,925円	+26,473円
合計	2,115,197円	-4,172,676円
・ 募金箱の設置 市内のスーパー、銀行など87箇所に設置（前年度比 -3箇所）		

②ぎんなん基金運営委員会の開催

開催日	議 題
令和 4 年 2 月 18 日 (金) 【書面開催】	(報告事項) ・令和 3 年度ぎんなん基金の状況について ・令和 3 年度ぎんなん基金の取組み実績及び取組み課題について (協議事項) ・令和 4 年度ぎんなん基金の取組みについて

7. 介護保険事業等の推進

(1) 訪問介護事業所の運営

(総事業費 24,959,468 円)

①訪問介護事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
110 人	174 人	62 人	39 人	15 人	400 人
820 回	2,038 回	540 回	305 回	88 回	3,791 回

(前年度比 -13 人 -477 回)

②介護予防訪問介護事業

事業の目的	要支援者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要支援 1	要支援 2	事業対象者(※)	合計
126 人	248 人	41 人	415 人
732 回	1,690 回	149 回	2,571 回

(前年度比 -316 人 -483 回)

※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(2) 居宅介護支援事業所の運営

(総事業費 11,709,756 円)

①居宅介護支援事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、その計画に基づく介護サービスが適正かつ円滑に提供させるようその進行を管理する。
-------	---

介護度別居宅サービス計画作成内訳（延件数）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3
114 件	187 件	185 件	237 件	97 件
要介護 4	要介護 5	事業対象者 (※)	合計	
76 件	65 件	6 件	967 件	

(前年度比 -16 件)

※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(3) 通所介護事業所の運営

(総事業費 17,177,192 円)

①通所介護事業（河内事業所で実施）

事業の目的	要介護者などの心身の特性を踏まえ、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	--

介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
71 人	57 人	20 人	16 人	0 人	164 人
776 回	560 回	351 回	209 回	0 回	1,896 回

(前年度比 -36 人 -19 回)

②介護予防通所介護事業の運営（河内事業所で実施）

事業の目的	要支援者などの心身の特性を踏まえ、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	--

介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）

要支援 1	要支援 2	事業対象者(※)	合計
2 人	16 人	0 人	18 人
8 回	122 回	0 回	130 回

（前年度比 -15 人 -135 回）

※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

（４）障がい福祉サービス事業の運営

事業の目的	利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介護、調理、洗濯及び掃除などの家事、生活などに関する相談及び助言並びに外出時における移動の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

居宅介護（ホームヘルプサービス） （延人数、延利用回数）	生活介護（デイサービス） （延人数、延利用回数）
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 173 人（前年度比-15 人） ・利用回数 1,996 回（前年度比+35 回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 24 人（前年度比+2 人） ・利用回数 346 回（前年度比+36 回）

（５）特定相談支援事業所の運営

事業の目的	障がい児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービスなどの利用計画・障害児利用支援計画の作成やモニタリング、相談支援を実施する。
-------	---

計画作成	モニタリング
<ul style="list-style-type: none"> ・指定特定相談支援 62 件 ・指定障害児相談支援 7 件 合計 69 件(前年度比-1 件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定特定相談支援 243 件 ・指定障害児相談支援 14 件 合計 257 件(前年度比-1 件)

8. 指定管理施設の管理・経営

(1) 総合福祉センターの管理・経営 (2施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

事業の目的	児童、障がい者及び高齢者などの福祉の増進並びに市民の活動による地域福祉の推進を図るための施設として、福祉に関する社会奉仕活動の推進や社会福祉団体の育成、団体の活動の場を提供する。
-------	---

①宇都宮市総合福祉センター

(総事業費 78,396,972円)

	種別	利用状況	前年度比
利用状況	開館日数	304日	-13日
	会議室など	延71,910人 延4,660団体	-8,045人 +365団体
	健康器具	延1,031人	-1,661人

②河内総合福祉センター

(総事業費 59,772,046円)

	種別	利用状況	前年度比	
利用状況	開館日数	295日	±0日	
	会議室など (団体室、ボランティア室 朗読室含む)	延5,602人 延362団体	-13人 +30団体	
	送迎バス	延182人	+91人	
	広間など	18,015人	+3,417人	
	浴室	60歳以上	11,296人	+2,007人
		60歳未満	87人	+29人
		障がい者	1,451人	+490人
子ども		16人	+12人	
健康器具	延7,214人	+1,153人		
その他	○一部事業休止 ・令和3年8月20日～9月30日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため			

(2) 老人福祉センターの管理・経営 (5施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

(総事業費 208,383,194円)

事業の目的	高齢者が健康で明るい生活を営むために必要な各種相談や健康の維持増進、教養の向上及びレクリエーションなどの便宜を総合的に図る。
-------	--

①ことぶき会館

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	141日	-117日
	利用者数	延べ26,783人	-14,546人
	送迎バス	延1,487人	-567人
健康相談など	血圧測定	6人	+5人
	健康相談	37人	+13人
	応急処置	8人	+8人
	健康器具利用	6,277人	-3,490人
教養講座	講座数	12講座	±0講座
	開催回数	延124回	-58回
	参加者数	延1,343人	-648人
年間行事など	ことぶき文化祭	中止	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
	地域小学校との交流会	中止	
	ことぶき健康みんなの大学 にこにこ体操教室	7回	-4回
	健康チェック、 肩こり・腰痛体操教室	12回	+9回
その他	○臨時休館 ・令和3年8月20日～9月30日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため ・令和3年11月2日～令和4年4月18日：空調設備工事のため		

②ふれあい荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	259 日	+111 日
	利用者数	延べ 27,171 人	+11,830 人
	送迎バス	延 956 人	+409 人
健康相談など	血圧測定	114 人	+19 人
	健康相談	133 人	+26 人
	応急処置	20 人	+13 人
	健康器具利用	10,434 人	+4,010 人
教養講座	講座数	12 講座	+2 講座
	開催回数	延 228 回	+152 回
	参加者数	延 1,917 人	+1,212 人
年間行事など	ふれあい荘文化祭	中止	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため
	花見演芸大会	中止	
	納涼演芸大会	中止	
	健康講話	中止	
	囲碁将棋自主講座 交流大会	中止	
	ボランティア団体などの 受入（映画観賞会）	中止	
	作品展（文化祭中止に伴 う代替事業）		
その他	○臨時休館 ・令和3年8月20日～9月30日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため		

③やすらぎ荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	259 日	+3 日
	利用者数	延 23,814 人	+3,687 人
	送迎バス	延 2,185 人	+547 人
健康相談など	血圧測定	294 人	+21 人
	健康相談	298 人	+24 人
	応急処置	5 人	+2 人
	健康器具利用	11,948 人	+712 人
教養講座	講座数	12 講座	-1 講座
	開催回数	延 231 回	+24 回
	参加者数	延 2,299 人	+512 人
年間行事など	やすらぎ荘文化祭	中止	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
	敬老の日地域中学校 演奏会及び交流会	中止	
	地域小学校との交流会	中止	
	ボランティア団体などの 受入（映画鑑賞）	中止	
	作品展（文化祭中止に伴 う代替事業）		
その他	○臨時休館 ・令和3年8月20日～9月30日：新型コロナウイルス感染症の 感染拡大防止のため		

④すこやか荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	259 日	+1 日
	利用者数	延 34,458 人	+6,635 人
	送迎バス	延 2,382 人	-134 人
健康相談など	血圧測定	7 人	+6 人
	健康相談	38 人	+9 人
	応急処置	8 人	-10 人
	健康器具利用	12,665 人	+531 人
教養講座	講座数	12 講座	±0 講座
	開催回数	延 218 回	+53 回
	参加者数	延 2,509 人	+1,016 人
年間行事など	すこやか荘文化祭	中止	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
	地域幼稚園との世代間交流事業	中止	
	ボランティア団体などの受入（軽音楽演奏会）	中止	
その他	<p>○備考 ことぶき会館の空調整備改修工事による休館に伴い、ことぶき会館送迎バスを活用して送迎を行った。 (運航日 55 日、利用者数 36 人)</p> <p>○臨時休館 ・令和 3 年 8 月 20 日～9 月 30 日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため</p>		

⑤上河内

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	215 日	±0 日
	利用者数	延 3,449 人	+424 人
健康相談など	血圧測定	0 人	-153 人
	健康相談	0 人	-153 人
	応急処置	0 人	±0 人
	健康器具利用	446 人	+77 人
教養講座	講座数	14 講座	+1 講座
	開催回数	延 85 回	+9 回
	参加者数	延 524 人	+46 人
年間行事など	上河内老人福祉センター まつり	中止	新型コロナウイルス 感染症の感染防止のため
	健康講話	中止	
その他	○臨時休館 ・令和3年8月20日～9月30日：新型コロナウイルス感染症の 感染拡大防止のため		



(3) 地域活動支援センターの管理・経営 (3施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)



事業の目的	障がいがあるため雇用されることが困難な方に、通所による生産活動の機会を提供するほか、日常生活訓練や社会適応訓練、職業指導訓練などを行い、障がい者の社会参加と自立の推進を図る。
-------	---

①雀の宮作業所

(総事業費 雀の宮作業所・若草作業所 49,126,448円)

	利用状況	前年度比
開所日数	238日	-5日
利用登録者数	19人	+1人
利用者数	延 3,622人	+529人
生産活動の 機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電機部品の組立 ・ 菓子箱の組立 ・ シール貼り ・ 文書の封筒詰め ・ 各種製品箱詰め、袋詰め ・ ダンボール製品組立 ・ ダイレクトメール封入作業 など 	
社会参加・ 自立促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会見学 ・ クリスマス会 ・ 新年の集い ・ 消防避難訓練 ・ うつのみやふれあい文化祭への参加 ・ 雀宮地域文化祭への参加 	
事業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲作業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲社会見学</p> </div> </div>	
その他	<p>○臨時休所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年8月20日～9月30日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため 	

②若草作業所

	利用状況	前年度比
開所日数	242 日	-1 日
利用登録者数	13 人	+1 人
利用者数	延 2,738 人	+179 人
生産活動の 機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> 玩具部品の組立 菓子箱の組立 ラベルシール貼り 各種製品箱詰め、袋詰め ダンボール製品組立 取扱説明書封入作業 など 	<ul style="list-style-type: none"> 文書の封筒詰め
社会参加・ 自立促進	<ul style="list-style-type: none"> 社会適応訓練 クリスマス会 館外レクリエーション わくわく工作会 避難訓練 うつのみやふれあい文化祭への参加など 	<ul style="list-style-type: none"> 新年の集い お楽しみ会食会
事業の様子	 <p>▲作業の様子</p>	 <p>▲社会適応訓練 (絵はがきを書いて投函)</p>

③障がい者福祉センター

(総事業費 36,542,234 円)

事業の目的	利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、通所により機能訓練や社会適応訓練の機会を提供し、地域生活支援の促進を図る。
-------	---

ア. 講座事業

	利用状況等	前年度比等
利用登録者数	96 人	-3 人
講座	講座数	15 講座
	開講回数	281 回
	参加者数	延 1,108 人
年間行事など	作品展 (市役所市民ホール)	
	うつのみやふれあい文化祭	審査員特別賞 2 人
	／わくわくアートコンクール in うつのみや	わく・わく賞 1 人
	地域活動支援センターとの交流会 (センター交流会・クリスマス会)	
	宇都宮市民福祉の祭典への参加・作品展示 松が峰ギャラリー・市民プラザでの作品展示	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため

講座の様子	 <p style="text-align: center;">▲スロ-エアロビック体操講座</p>	 <p style="text-align: center;">▲ パソコン中級講座</p>
その他	<p>○講座休止</p> <p>・令和3年8月2日～9月30日：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため</p>	

イ. 地域活動支援センター事業

	利用状況等		前年度比
利用登録者数	11人		±0人
医療生活相談	開催回数	0回	-1回
	利用者数	0人	-1人
年間行事など	音楽療法		新型コロナウイルス感染症の感染防止のため
	レクリエーション (誕生会、節分会、ひな祭り)		
	野外療育訓練		
	講座事業との交流会 (センター交流会、クリスマス会)		
	宇都宮市民福祉の祭典への参加		
	外食訓練		
	料理実習		

(4) 指定管理施設の管理・経営の充実

①事業経営委員会の開催

開催日	議 題
令和4年 2月18日(金) 【書面開催】	(報告事項) ・令和3年度指定管理事業及び介護保険事業等の経営状況について (協議事項) ・令和4年度指定管理事業及び介護保険事業等の取組みについて

9. 受託事業の実施

(1) 宇都宮市からの受託事業

①日中一時支援事業の実施

- ア. あっとほ一む・すずめ（放課後支援型）（平成 16 年 4 月 1 日受託）
- イ. あっとほ一む・うだい（放課後支援型）（平成 19 年 7 月 12 日受託）
- ウ. あっとほ一む・かわち（放課後支援型）（平成 22 年 4 月 1 日受託）
- エ. 河内地域活動支援事業所（日中支援型）（平成 19 年 5 月 24 日受託）

（総事業費 13,161,147 円）

事業の目的	障がい者などの日中における活動の場を提供し、見守りを実施する。
-------	---------------------------------

取組み内容				
施設名	区分	開所日数	定員	利用者延人数
あっとほ一む・すずめ（※）	放課後支援型	242 日	10 人	405 人
あっとほ一む・うだい	放課後支援型	242 日	10 人	1,072 人
あっとほ一む・かわち（※）	放課後支援型	242 日	10 人	356 人
河内地域活動支援事業所（※）	日中支援型	242 日	5 人	509 人
合 計				2,342 人
（前年度比 -548 人）				

（※）令和 4 年 3 月 31 日をもって受託終了

②各種奉仕員養成講座の実施

（総事業費 1,192,640 円）

ア. 手話奉仕員養成講座

事業の目的	聴覚に障がいのある方に対し、手話によるコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する。
-------	--

実施コース	内 容	開催日	受講人数
入門過程 基礎課程	手話の基礎知識と実技 手話の応用知識と実技	令和 3 年 5 月 ～令和 4 年 3 月 毎週水曜日 (全 40 回)	延 468 人 (前年度比 +127 人)

イ. 点訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本などの印刷物を点字にして、点字による情報提供を行う点訳奉仕員を養成する。	
実施コース	内 容	開催日
入門過程 中級課程	点訳の基礎知識と実技 点訳の応用知識と実技	令和3年5月～令和4年3月 毎週火曜日（全40回） 『中止』

ウ. 音訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本や印刷物を朗読し、テープなどに録音して、音声による情報提供を行う音訳奉仕員を養成する。		
実施コース	内 容	開催日	受講人数
初級過程 中級課程	音訳の基礎知識と実技 音訳の応用知識と実技	令和3年5月 ～令和4年3月 毎週水曜日 (全35回)	延 329 人 (前年度比+50人)

③宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施

（平成18年10月1日受託）

（総事業費 554,932 円）

事業の目的	聴覚障がい者などを対象に、日常生活を営む上でコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣し、社会参加を円滑にする。
-------	--

派遣依頼数	活動筆記者数
33 件 (前年度比 +13 件)	65 人 (前年度比 +36 人)

④宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施

（平成26年6月25日受託）（総事業費 20,930,166 円）

※前掲：10P 参照

⑤生活困窮者自立相談支援事業の実施（平成26年6月25日モデル事業受託）

（平成27年4月1日受託）（総事業費 51,359,237 円）

※前掲：17P 参照

⑥地域包括支援センター事業の充実

ア. 地域包括支援センター御本丸（平成 18 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 35,326,587 円）

※前掲：18P 参照

イ. 上河内地域包括支援センター（平成 19 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 25,648,290 円）

※前掲：19P 参照

⑦移動支援事業の実施（平成 18 年 10 月 1 日受託）

事業の目的	屋外での移動が困難な障がいのある方の外出や余暇活動などの社会参加の際に、訪問介護員が外出の支援を行う。
-------	---

利用状況	
利用者数	0 人
(前年度比)	±0 人)

(2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業

①生活福祉資金等貸付事業の実施

(総事業費 51,749,043 円)

事業の目的	低所得者世帯などに対して、低金利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の向上・社会参加の促進を図る。
-------	--

取組み内容

- ・相談件数 延 9,950 件 (前年度比 -9,660 件)
- ・申請状況など

資金種別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	8 件
	福祉資金 (福祉費)	4 件
	福祉資金 (緊急小口資金)	4 件
	教育支援資金	1 件
	不動産担保型生活資金	1 件
臨時特例つなぎ資金		0 件
合 計		18 件 (前年度比 -19 件)

- ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活福祉資金貸付制度における特例貸付
※令和 2 年 3 月 25 日事業開始

資金種別		令和 3 年度 申請件数	延べ申請件数
生活福祉資金	緊急小口資金	1,630 件	6,988 件

資金種別		令和 3 年度 申請件数	延べ申請件数
生活福祉資金	総合支援資金 (初回)	1,707 件	5,579 件
	総合支援資金 (延長)	593 件	2,638 件
	総合支援資金 (再貸付)	1,972 件	3,875 件
合 計		4,272 件	12,092 件

総合支援資金 (延長) : 令和 3 年 6 月 30 日受付終了

総合支援資金 (再貸付) : 令和 3 年 12 月 31 日受付終了

②日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業 (平成 11 年 10 月 1 日受託)】

(総事業費 10,342,500 円)

※前掲 : 15P 参照